

久美小学び通信

R. 6 9. 6 教務

主体的に学べる授業をつくる ～個別最適な学びを目指して～

9月4日は、6年生の公開授業がありました。本校だけでなく他校からも先生が来られ、きっと児童達は緊張したと思いますが、そんな中でも一人ひとりが課題解決に向けて熱心に取り組んでいました。ある児童は「個」で、またある児童は「ペア」で、そしてまたある児童は「グループ」で。それぞれが主体的に学べる授業をする先生の実践に、他の先生方も驚き、感心しておられました。

子どもに委ねつつも必要に応じて支援を必要とする児童に声をかけたり、全体への指示を入れたりおられました。主体的に授業がつけられている中でも、任せっきりではいけないことも、参観すると気づかされました。



個・ペア・グループでわかれています
が、個別に支援をされていました。

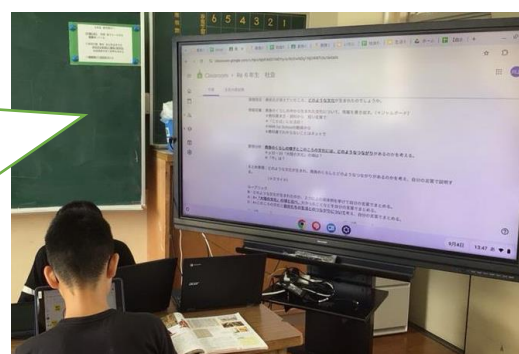
学びの手引きとループリック

児童に学ばせたいポイントを学習の手引きに細かく記すことで、学習内容をより確実に定着させることにつながるのだと思います。教材研究は大変ですが、重要な内容でした。

また、ループリックでめあてをもたせ、ふり返りをさせることが児童の学び方の習得につながっていくのですね。

事後の懇談にて・・・

他校の先生と授業後懇談をしました。そこで、先生が授業をここまで作りあげるまでに苦労した話も詳しくしていました。最初の頃はいっしょにやり、教科書から情報を取り出すポイントやまとめ作りを速くするためのアドバイスまでしたこと、真っ白だった教科書に線を引いたりキーワードを見付けたりするよう根気強く指導してきたこと、まとめで教科書のどこを見たらヒントになるか、などなど。とても具体的で、後で話した K 小学校の先生から、放課後に話を聞いた方が、どのように授業をつくっていくかがわかって勉強になったと話していました。時には運動会の行事が忙しかったら、ふり返りを書くことを省いていたこともあったなど。6年担任として日々の授業以外にも忙しく、十分に時間が取り切れなかった時がありながらも、継続して指導し続けたことが積み上がり、現在児童が学びの途切れない主体的に学ぶ授業をつくっていったことを知りました。こちらも出席させてもらい、とても有意義な時間となりました。



先生お疲れさまでした！

まだ2学期始まったばかりですが・・・